

県議会報告

日本共産党岡山県議会議員団



森脇ひさき



氏平みほ子

2月15日、岡山県の来年度予算案が発表されました。これまで住民運動にとりくみ拡充を求めてきたなかで、成果に結びついた主なものを紹介します。

教育の父母負担軽減

○ 私学助成に約2億円の増額

「公立は無償、私学は有償」と、新たな公私格差が生まれるなか、私学助成の拡充を求める声が強まっています。「私学助成をすすめる会」(私学教員、父母、生徒ら)は毎年、私学助成制度の拡充を求めて県議会に10万筆を超える署名を提出。日本共産党県議団は、その紹介議員として制度の充実を求めてきました。



(昨年11月の県議会要請)

○ 県立高校のPTA会費軽減に約5,600万円

県立高校の修繕費や光熱費の一部がPTA会費からの負担になっており、その改善を求める陳情が毎年県議会に提出されていました。党県議団は陳情の採択とPTA会費からの負担をなくすよう求めてきました。来年度予算に約5,600万円が計上され、森脇県議の質問に「目に見える形でPTA会費が減額されるよう徹底する」と答弁しました。陳情は、昨年11月議会で自民党、公明党が「不採択」にしていました。

子どもや家庭への支援充実

○ スクール・カウンセラー配置

児童・生徒や親の様々な相談に応じるスクール・カウンセラーの役割が大きくなっており、来年度、26校から42校(岡山市除く)へ増員されることになりました。

○ スクール・ソーシャルワーカー配置

今年度まで6人が配置されていましたが、25人に増員されるとともに配置時間も拡充され、子どもや家庭への支援が強化されることになりました。

○ 部活動などの指導における体罰禁止

今年度末に策定される「スポーツ振興計画」に、体罰の禁止が明記されることが明らかになりました。今までなかったことが不思議。

医療・福祉の支援拡充

○ 病児・病後児保育の充実

病児を受け入れるため看護師を配置する事業を実施する市町村への補助制度ができます。

○ 放射性物質の内部被曝測定

国立病院機構・岡山医療センター(岡山市北区)にホールボディ・カウンター(内部被曝の検査機器)が整備され、今年4月から運用される予定です。これまで広島まで行かなければならなかった検査が岡山で受け取ってもらえるようになります。



子ども医療費無料化を求めて署名提出
(医療費無料化を求めると 1月30日)



倉敷駅周辺の鉄道高架事業中止を要請
(党県委員会、倉敷市議団とともに 2月8日)

党県議団は、「命と健康を守る政治」が必要と、特に障害者医療費の無料化、子ども医療費無料化年齢の拡大を、「地域を元気にする政治」として、住宅リフォーム助成制度の創設などを求めてきましたが、これらはひき続きの課題となりました。

来年度予算案には問題点もみられます。常任委員会や予算総括協議会、2月議会を通じて修正を求めました。

中小企業支援には厳しい産業予算

国際化関連	2,607 万円(111.5%)	貿易・投資環境の整備、国際ビジネス支援など
企業誘致	84,142 万円(149.5%)	工業団地に立地した企業への補助金
技術振興関連	61,343 万円(91.3%)	新技術・新製品の研究、技術開発、ものづくり支援、バイオマスの利用研究、起業支援など
中小企業関係	331,988 万円(94.9%)	経営革新や創業の支援、下請企業の支援・苦情相談、設備資金貸付制度の原資貸付など

※() 内は本年度予算比

産業振興策として、「もうかる産業」「企業誘致」を強調する伊原木知事のもと、産業分野の予算は、大きな企業に役立つ国際化関連や企業誘致の予算は増額する一方で、地域で頑張る中小企業への支援と直結する技術振興、中小企業支援の予算は減額となっています。まさに逆立ちと言わなければなりません。

99.8%の中小企業を元気に



予算総括協議会で質問に立った森脇県議は、「不況に苦しむ中小企業を本気で支援するものになっていない」と、「一部の企業、分野だけでなく、小規模企業・零細事業者への支援も十分なものに」するよう求めました。知事は「99.8%の中小企業に頑張ってもらわなければ中小企業振興といえない。アイデアを出してがんばりたい」と答えました。

アを出してがんばりたい」と答えました。

日本共産党岡山県議会議員団 2013年3月 TEL 086(226)7412
岡山市北区内山下2-4-6 岡山県議会内 FAX 086(231)2187

普通に暮らせる地域を

森脇県議は持続可能な集落づくり(小規模高齢者集落対策)についても質問しました。「普通に仕事し、まじめに働けば、普通の暮らしができる、食べていけるようにする、そういう視点がないことが問題」だと述べると、知事は「何か特殊なことをしなければ生活できないのでは安心感がなくなってしまう。県内どこに住んでいても安心できる社会をめざしたい」と答弁しました。

ムダづかいをやめ、職員給与を削減するな!

国は、公務員給与の削減を地方にも押しつけるため、地方交付税を削減することを決めました。県は税収不足になることを理由に、来年度も職員の給与を削減する方向で検討しています。長年にわたって全国一の削減がおこなわれているのに、悪政のつけをこれ以上職員や県民に押しつけることは認められません。

瀬戸大橋にかかる出資、苫田ダム「余り水」への支出などを見直すよう求めました。

★瀬戸大橋の関係で約23.5億円 (今年度も補正で追加し23.5億円に)

★苫田ダムの「余り水」に約6億円



日本共産党岡山県委員会は2月19日、夏の参院選岡山選挙区候補として、党県女性部長のかきうち京美さん(写真右)を擁立すると発表しました。

【写真は「即時原発ゼロ」を求める中国電力前のパレードにて】